

くろつち便り

今月の内容

9条の会おおすみ総会・講演会(6/16) / たるみず9条の会講演(6/30) / この夏の予定
くろつち会作品展 / 野草折々27シマトバラ / 家族訴訟(6/28) / (ほっとする?話) / KC130飛行訓練反対集会(6/24) / 参議選



↑会報QRコード

9条の会おおすみ講演会・総会

6月16日「9条の会おおすみ」の2019年度総会が東地区学習センターでありました。

松下代表挨拶

マスコミは安倍を恐れて畏縮している。安倍は7年間、戦争準備を進めてきた。



土橋さんが議長に就き、2018年度活動報告、会計報告が協議されました。

相馬さんによる活動総括

様々な活動をやってきたが、活動の担い手の広がり不十分であること、次の世代が参加できる環境をどう作るかが大きな課題だ。



吉留さんの提案で、横断幕を作り、さまざまな集会で活用することになりました。

活動方針には明示してないけど、種子島から講師を招いて、馬毛島問題の学習会を開くことがあるかもしれないということも出されました。

土橋さん議長解任の挨拶

(小さな変化が大きな変化を呼ぶという)気象学のバタフライ効果を狙って、毎月新聞投稿をしている。



総会



高山9条の会野間代表連帯の挨拶

何としても憲法を改悪させない。そのために私たち高山9条の会も微力ながら頑張っていきたい。

吉留さんの提案

スタンディングアピールなどの時、横断幕があると効果的だと思う。金もあるようだから、作ったらどうだろうか。



竹下さん閉会挨拶

金曜集会やKC130(慣熟飛行訓練反対集会)など、めげずに日常的に活動を続けていくことが必要だ。



演題
日本の海や空は誰のもの?
日米地位協定の問題点
講師 鹿児島大学名誉教授 飯田泰雄 さん

続いて鹿児島大学名誉教授、飯田泰雄先生による記念講演。

講演は1968年の九大の米空軍ファントム偵察機墜落事故、2004年沖縄国際大学の米軍ヘリ墜落の話から始まりました。

地位協定は実質的に占領下と変わらない、占領の継続だ。旧協定では「日本を守るため」とは書いてなかったこと、新協定では一応書いてあるが「共同で」とあって、後に自衛隊の海外派兵につながる文

面になっていることなども話されました。

日本の空は、日本の領空でありながら日本のものじゃないというのは、NATOなど他の国では考えられない。

憲法と安保、両法体系で矛盾があり、重なっているところは安保を柱とした法体系を優先するという密約。

ベトナム戦争や60年安保、1957年砂川事件では裁判で外交圧力(密約)がかかった話など僕はもうどうも忘れていた話が出てきて、戦後70年の歴史、それらは過去の話ではないのだ、全てが繋がっているのだと実感しました。



訓練飛行について竹下さん



説明会では「範囲9km以外では日本の航空法に従う」という説明だったが、どうも守られていない。

飯田先生

「基本的に米軍は、日本の法律に縛られません」

最近の若者について

飯山さん



昔は労働者と若者が一緒に運動を進めた。最近は何故若者が立ち上がらない?

飯田先生

「2015年の戦争法の時、シールズの活動がきっかけで、国会内で野党の足並みが揃ってきた」野党統一候補が鹿児島島など1人区で勝利することが大切だ、と強調して講演を終えました。(文責:榎園哲思)

KC130、来るな〜ッ!

6月24日、KC130の慣熟飛行訓練が強行されるというので、13時、抗議のために野里運動公園近くの道路に有志が集まった。

14時8分前後、1回目の飛来があった。両翼の端には、★マークとMARINEの文字。それぞれ「米国」と「海兵隊」を表すのだろう。その後、5分〜10分おきぐらいに飛来し、14時50分ぐらいまでに全部で7回、タッチアンドゴーをくり返した。(写真、離陸直後-下段-から、フェンスオーバー-上段-まで、右下-抗議のために集まった有志)

米良さん「今日は、訓練のオンパレードだね」
 これまではせいぜい2回だったのに、この日



は鹿屋の空をわが物顔にしていた。これからも続くことが予想されるが、微力ながらも抗議の声はあげ続けたい。

7月にも招かざる客-KC130

凝りもせず7月も飛行訓練が3回、計画された。

10日は荒れ気味の天候の中で待っていると、市役所の担当職員が中止を知らせてくれた。

12日は、天気良好。午後2時ごろ、抗議のために有志が集

合。2時15分ごろ、突如KC-130が訪れた。その後概ね15分おきぐらいに、都合4回実施されたところで、市役所の担当がやってきて、終わったことを知らせてくれた。次回は、

30日 午前10〜12時
 というのだが、鹿屋の空は、鹿屋市民のものであるはず。米軍は招かざる客である。

この夏の予定

- 金曜集会 8/2
 イベント広場 18時〜19時
- 被爆者記念追悼集会 8/9
 イベント広場 10時〜
 核兵器廃絶!(3頁目参照)
- 共助会 教育講演会 8/23
 会場 リナシティーかのや
 13時半 開場 14時 開演
 善元幸夫さん(東京学芸大)
 「おもしろくなければ学校じゃない」
- 徳田弁護士講演 8/24
 4頁、松下さん論考にある通り、ハンセン病家族訴訟は勝訴になりました。それについて、徳田弁護士さんの講演です。
- 木村草太講演 8/4
 8/4〜5日、文芸研全国大会(後援 MBC, KYT, KTS)があり、4日は記念行事として木村草太さん(憲法学者13:15〜14:45)と内田麟太郎さん(童話作家15:00〜16:30)の講演があります。参加費は退職者 3,000円(現職 6,000円 or 3,500円)
 4日会場: 県民交流センター。
- 断固拒否!核のゴミ講演会
 7/26 肝付町文化センター
 18時〜 青木幸雄氏
- 支部大掃除 7/27 or 8月中旬
 別途案内します

「たるみず9条の会」講演会に参加して「できることをひとつずつ・・・」

6月30日、ワイパーの「強」で捌ききれないくらいの大雨の中を垂水に向かった。「たるみず9条の会」総会の学習講演「日本の安全保障政策と『憲法改正』問題」を聞くためである。講師は鹿大名誉教授、坂東義雄先生、会場は垂水市民館。

レジメに沿って分かりやすい話が続いた。

何が何でも改憲の実現を押し進めようとする安倍政権、「日米同盟」の枠に縛られた日本の安全保障政策、更に「日米同盟」強化が新「防衛計画」に表れている等々・・・

暗い内容に「あーあ」と思っ

たが、この状況を打破するには、語ることが大事だとのこと。安倍政権のおかしさ、日本が進もうとしている方向の危うさを、周りに語り広げていくしかないとのこと。私の最も苦手とする語り。

参議院選の見通しが報道され、その内容に落ち込んだ。しかし、昔々、負け続きの選挙の後に奇跡が起こり、しばしの光明が灯った。

日米共同訓練 沖縄問題・・・・・・。気懸かりなことが山積しているが、できることをひとつずつ・・・前に進むしかないと思いつつ、帰途についた。

(文責 樋園光子)

被爆者追悼祈念集会 8月9日

今年もあの日がやってくる。8月6日広島、9日長崎。・・・金子兜太のある本を見ていたら、★原爆忌一つ吊輪に数多(あまた)の手 山崎ひさをという句が紹介されていた。焼け焦げた電車の写真を前に読んだ句だろう。現在では、原爆忌の日なのにそれとは全く無関係で数多の無関心層が電車で移動している一方、74年前のあの日もこんな光景の中一瞬に電車が黒焦げに、などと現在と過去をダブらせて想像するが・・・素人には句はあまりよく分からない。



8月9日(金)、イベント広場10時～被爆者追悼祈念集会が開かれます。少なくとも無関心層にはなるまい。集会に参加できない方でも投下時刻11時2分には黙祷を。(文責:樋園)

改憲派の2/3は阻止したが参院選後の行方は？



選挙戦終盤の18日、時折雨がぱらつく中、吉田候補がだいわ前で街頭演説。

天気は変えられないが、政治は変えられる……

吉田忠智さんは早々に比例区で当確を決め、改憲派の2/3を阻止したが、自公の壁は厚かった。韓国との軋轢をうまく利用した政権側が、多くの若い世代の支持を取り付けたのであろう。しかし投票率のかなりの低さは、現政治への嫌気の表れ、安倍への消極的な信任でしかないことでもある。社民党は得票率2%を上回り、政党要件を維持できた。改憲反対運動が潰えたわけではない。

ほっとする話?できない話? 樋園哲思 「我は凡夫なり」

先月、上蘭先生が買ったばかりのメガネを紛失した話をされた。先生からすると僕はほんの若輩だが、毎日探し物をしない日はなくて、これも年齢のせいかなあと思ったりする。昨年、護憲駅伝の日に僅かな段差に躓いて、顔面からもんどり打ったこともあった(4月臨時号「護憲駅伝」参照)が、それも年のせいだろう。自分でも加齢の影響を様々な場面で自覚している。

6月下旬、市役所から封書が届いた。中を開くと毎年この頃に届く新しい健康保険証かと思いきや、いつもと何かが違う。例年だと妻の保険証も入ってい

るのに、僕のものだけだ。しかも手紙が添えてある。

<あなたは、今回誕生日を迎えられ、令和元年7月1日から「国民健康保険高齢受給者証」の交付対象者となります>

そうか、と思う反面、お役所から「お前は年寄りだぞ」と宣告されているようで、「失礼な、自分で自覚するのはいいがお前(お役所)から言われたくない」と、複雑な気持ちになった。

医療機関での自己負担割合は2割になるとも書いてあった。喜ばばいいのに何か素直に喜べない自分がいた。負担額の多寡に憤っているのではなく、年寄りと宣告されていることに対しての、歪んだ反骨精神である。

ドイツ文学者の池内紀氏の著

作に「すごいトシヨリBOOK」というのがある。(毎日新聞1000円) いずれ紹介したいが、その中で<トシをとると楽しみがふえる><人生の楽しみは70歳からの「下り坂」にあり><自分の主治医は自分と心得る>などと、達観した考え方をされておられるようだけど、我は煩惱多き凡夫。到底達し得ない心境である。

まあ凡夫は凡夫なりに、毎日探し物に明け暮れることにしよう。



後日談: 7月中旬、共助会から、2万円の祝い金のお知らせ。現金なものでこちらは素直に喜んだ。



野草新々-27-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ。今回は、

ミヤマトベラ (マメ科)

林内に生える常緑性小低木。葉は小葉3枚からなる複葉で、葉面は光沢がありトベラに似ることから「深山トベラ」と呼ばれる。夏の始まり、茎のいただきに白い花を咲かせる。

2019年6月22日 鶴田町冷水トンネルで撮影

家族訴訟は「勝訴」でした。が…全面勝訴ではない… 特筆すべきは文科省への言及 松下徳二

6月28日、敬愛園8時発、帰り21時過ぎで、熊本家族訴訟判決集会に参加してきました。鹿屋から17人。

さて、判決には全国から予想以上の方々、マスコミは混乱状態といえるくらいの多さ。とても法廷内には入れず、2時過ぎの完全勝利の判決を裁判所玄関前で待ちました。

やがて、おなじみの**勝訴**の縦幕を持った若い弁護士さんが現れるとみんなで大きな拍手。勝訴を信じてはいましたが、やはり一安心。涙目の人も…。

ただ、心残りは、示されたのが「**全面勝訴**」ではなく、「**勝訴**」だったこと。その説明を聞きたくて、その後4時からの説明会に出

ました。が、時間の制約もあり十分には聞けないまま帰途につきました。

さて、いただいた「**判決骨子**」の内容はどれも独特の文書で、何回も読んで少し理解できたような…。ただ、うれしかったというかやっと指摘してくれたかという感じを持ったのは文科省への言及があったことです。こんな文章があります。

『3 文部大臣について (1) 違法性について 「偏見差別除去にとって教育は重要であり、教育の場で偏見に基づかない正確な知識に基づいた指導がなされなければ、社会から偏見差別を除去することは困難である。…文部科学大臣は平成8年以降平成13年末まで、保健、社会科、及び人権教育等ハンセン病に関する教育を担当する小中高校の教員に対し、ハンセン病やハンセン病患者の家族について誤った教育を行わないよう適切な指導をし、その学校教育

において、すべての児童生徒に対し、その成長過程と理解度に応じた、ハンセン病についての正しい知識を教育するとともにハンセン病患者の家族に対する偏見差別の是正を含む人権啓発教育が実施されるよう、教材の作成、教育指導の方法を含め適切な措置をとるべきであった。文科大臣はかかる義務を怠っており、国賠法上の違法性が認められる』。(この続きに「平成14年以降については、文部科学大臣が政治的な責務を負い続けるとしても、国家賠償法上の違法性を認めることはできない」と続いています。この文章は理解できていません)(これまで文科省は総括もせず、お詫びもせず、学校教育への取り組みもほとんどせずでした)。

国の控訴は考えられませんが、この日早くも控訴断念を勝ち取るための行動が始まりました。20年前首相官邸周辺で座り込みをしたことを思い出しました。

(付記: 7/9、安倍の目論見は不明だが、政府は控訴を断念した。)



↑カッツボースは上野さん



第8回—くろつち会作品展—ことしも実施します

2019年 第8回

くろつち会作品展

日時: 11月1日~5日
10時~20時 (但し5日は13時まで)
場所: プラッセだいわ1階

作品展実行委員会の役員体制は次のように決まりました。

実行委員長 野口幸司郎さん
事務局長 野間典文さん
実行委員 役員全体で取り組む教職員共助会に計画書を提出したり、企業に協賛をお願いしたり、着々と準備が進んでいます。

できるだけ多くの会員に、出品していただきたいです。くろつち会の役員さんを通して、

作品ジャンル(絵画、書、写真、盆栽、手工芸、短歌、俳句など)
作品名(タイトル)
出品点数
などをお知らせ下さい。

次回の実行委員会は、8月の役員会の後に開催されます。できましたらそれまでお願いします。

ますます充実した作品展になります

鹿児島県教職員共助会の公益文化事業

主催: くろつち会 (肝属地区退職教職員の会)